

平成 25 年 2 月 28 日
国土交通省九州地方整備局
佐賀国道事務所

九州地方整備局佐賀国道事務所では、限られた予算の中で交通事故対策への投資効率を最大限高めるため、「事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」を平成22年12月に策定し、交通事故対策を進めています。

今回、「通学路緊急合同点検の反映」「高齢者事故への対応」「最新事故データ、地域要望の反映等」の3つの視点を踏まえて事故危険区間リストを更新し、「佐賀県道路交通環境推進連絡会議」において議論してまいりましたが、このたび「事故危険区間」が承認されましたのでお知らせします。

佐賀国道事務所管内において

新たな事故危険区間として、338区間を事故危険区間に選定しました。

- ・ 佐賀県事故ゼロプランの取り組み 別紙-1
- ・ 佐賀国道事務所管内における事故危険区間(主な代表箇所)の位置図 別紙-2

●通学路の安全確保など新たな視点により、89区間を事故危険区間リストに追加

- 3つの視点を選定フローに取り込み、事故危険区間リストを更新しました
- 経過観察*79区間を含む、338区間を事故危険区間に選定しました

視点1: 通学路の緊急合同点検の反映 【歩道整備】

視点2: 高齢者への事故対策の充実 【交通事故対策】

視点3: 最新事故データ、地域要望等の反映 【交通事故対策・歩道整備】



【問い合わせ先】



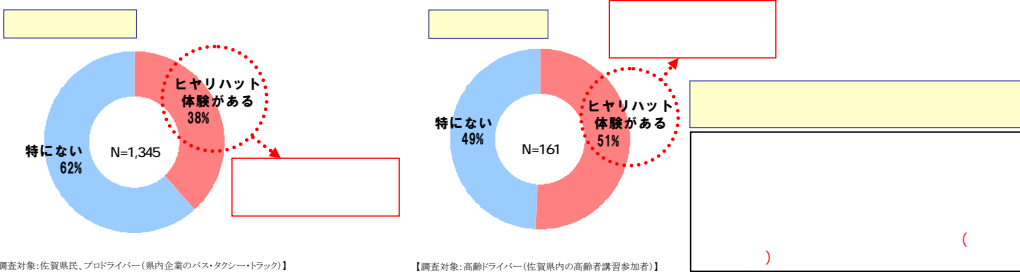
国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所

TEL 0952-32-1151(代表)

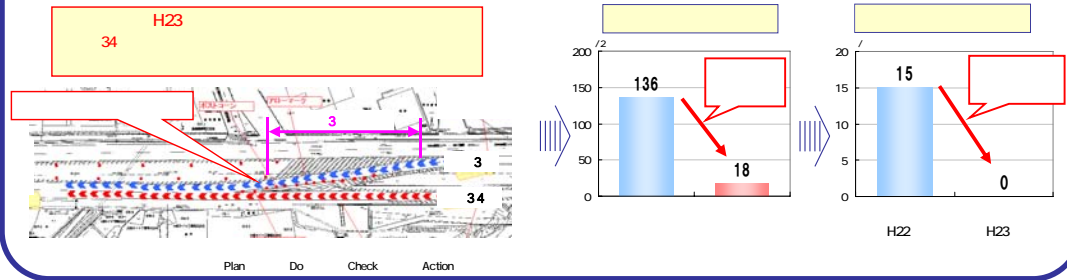
技術副所長 川北 一明 (内線205)

交通対策課長 栗原 和男 (内線471)

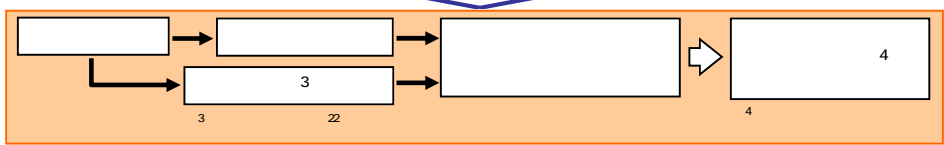
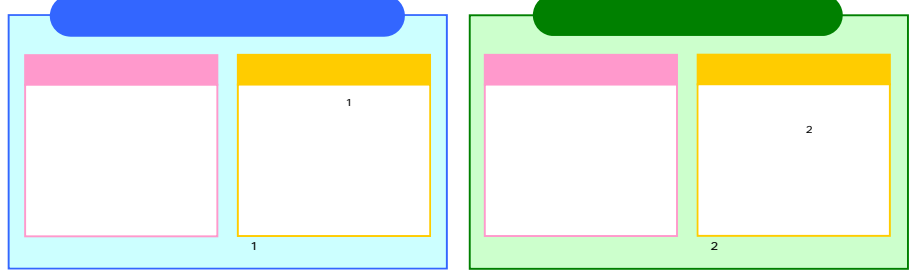
- 事故危険区間対象路線（直轄国道）において、
- 高齢ドライバーのヒヤリハット体験箇所を
- 高齢者の行動特性（反応時間の遅れ）から、飛び出しが多い箇所や視認性の悪い箇所など、



- 国道3号と国道34号の合流部付近について、一時停止から自然合流に変更し、対策効果を検証
- 事故対策後、国道3号合流部付近のブレーキ回数は大幅に減少し、
- 新たな課題として、合流部付近の平均速度向上に伴う新たな事故を誘発していないか確認します



- 3つの視点を選定フローに取り込み、事故危険区間リストを更新しました
- 経過観察 79区間を含む、



- 県内の代表的な事故多発地点である前満江交差点で、地域住民の方々と一緒に危険な運転挙動を確認して
- 地域住民との協働による交通事故削減に向けた

